

## 臨床研究に関する公開情報

横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承ください。できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承くださいをお申し出なされた場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

〔研究課題名〕 抗神経抗体に関連する傍腫瘍性神経症候群に関する臨床・病理学的研究

〔研究責任者〕 入岡 隆（横須賀共済病院、脳神経内科部長）

〔研究の概要〕 当院で診療を受け、のちに病理解剖を受けた抗神経抗体に関連する傍腫瘍性神経症候群の患者さん2名の臨床データ、神経病理学的・神経免疫学的解析結果をまとめ、稀な神経疾患の病態メカニズムを解明する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん 2014年から2020年の間で、抗神経抗体に関連する傍腫瘍性神経症候群を発症した患者さんで、当院脳神経内科の外来・病棟で治療を受けたのち、患者さん自身あるいはご家族の同意のもと病理解剖を受けた2名

●研究に用いるカルテ情報、試料・検体

＊カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、神経症状・所見、検査結果（血液・脳脊髄液検査、脳MRIなどの画像検査、等）、治療経過、等。

＊カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号などの個人特定に至りうる情報は本研究で使用・発表されません。

＊試料・検体：病理解剖で得た脳標本をウィーン医科大学脳神経内科学 神経病理・神経化学部門（共同研究者 Verena Endmayr, 科学修士, Romana Höftberger, 医学博士・教授）において神経病理学的・免疫学的に解析し、撮影した顕微鏡写真。

〔研究の期間〕 横須賀共済病院 臨床研究倫理委員会 審査承認後から

2028年12月31日まで（予定、英文論文作成・発表にて終了）

## [研究の発表]

- 国際神経免疫学会（International Society of Neuroimmunology: ISNI）の学術集会  
第17回国際学会にてポスター発表（2025年10月5-8日、千葉、幕張メッセ）
- 第74回共済医学会にて口演（2025年10月8-9日、仙台国際センター）
- 英文論文発表：神経内科学・神経免疫学に関係する英文雑誌への投稿・発表を最終目標としています（雑誌例：Neurology Neuroimmunology Neuroinflammation (Nn2), Journal of Neuroimmunology, など）。

○なお本研究に関連した先行研究は Nn2 誌に 2022 年発表されています。

Winklehner M, et al. Paraneoplastic Cerebellar Degeneration with P/Q-VGCC vs Yo autoantibodies. Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm 9: e200006; 2022.

## [問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

電話 046-822-2710（代表）（平日 午前8時30分から午後17時15分まで）

FAX 046-822-9139

連絡先対応者 脳神経内科 部長（研究責任者） 入岡 隆

\*お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。

あらかじめご了承ください。

以上